

今後の HTLV-1 感染対策事業の取組みについて

1 平成 27 年度 HTLV-1 感染対策事業の概要

重点施策(国の総合対策)	厚生労働省	岩手県
1 協議会の設置	HILV-1 対策推進協議会 (平成 23 年度設置)	名 称：岩手県 HTLV-1 感染対策協議会 開 催：平成 27 年 9 月 15 日 (設置 H24.3.21 ②H24.8.28 ③H25.8.27 ④H26.8.28 ⑤H27.9.15)
2 感染予防対策	○妊婦の HTLV-1 抗体検査実施体制の確立 ○保健所における HTLV-1 抗体検査の導入 ○HTLV-1 抗体検査を「妊娠初期に 1 回」を目安に規定	○ 全市町村で妊婦健康診査を実施 (H21～)。受診項目に HTLV-1 を追加 ○ 保健所で抗体検査を実施。(H26～) 「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」(平 27 厚労省告示第 226 号)
3 相談支援	○HTLV-1 キャリアや ATL・HAM 患者に対する相談体制の構築	○「HTLV-1 キャリア等への医療・相談支援体制(目指す姿)」及び「HTLV-1 キャリアに関わる医療機関分布図」を作成し、県内産科医療機関、市町村・保健所等関係機関へキャリア外来を周知 (H24～)
4 医療体制の整備	○精度の高い検査方法開発 ○診療体制の整備 ○診療ガイドラインの策定	○ 県内産科医療機関アンケート調査を実施 (コホート研究の認知、妊婦健診の陽性者数、協力病院への紹介、患者への指導) (H23～) ○ 医療保健従事者研修会の開催 (H24～) ・ 日時：10 月 10 日 (土) 13:30～16:40 ・ 場所：岩手県医師会館 視聴覚室
5 普及啓発・情報提供	○国民への普及啓発・情報提供 ○医療関係者等への普及啓発・研修・情報提供	○ 県民に対する普及啓発 ・ 県ホームページへの掲載 ・ 妊婦健康診査受診券配布時に HTLV-1 リーフレットを配付 ・ 医療機関窓口にポスターを掲示
6 研究開発の推進	○HTLV-1 に関する研究を HTLV-1 関連疾患研究領域として実施	○ 研究事業 ・ 革新的がん医療実用化研究事業 ・ 難治性疾患実用化研究費 ・ 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 ・ 難治性疾患政策研究事業 ※ 母子感染コホート研究 (H26 厚生労働科学研究補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業))

2 本県における HTLV-1 感染対策の課題等

(1) キャリアへの医療・相談連携体制の充実

ア 取組状況

キャリアと判明した妊婦や母子感染した児童等に対する医療・相談連携体制については、現在、本協議会において、産科医療機関、市町村保健所と 6 か所のキャリア外来窓口等による支援体制を明示した「目指す姿」を作成した。

イ 課題と対応方針

キャリア外来窓口の役割の明確化、産科・小児科の医療機関による母子感染防止指導と協力病院への紹介の徹底、協力病院との役割分担等について、平成 24 年度に本協議会で作成した「目指す姿」及び「HTLV-1 キャリア等への医療体制、相談体制について」に基づき、県が開催する医療保健従事者研修会や県医師会内での周知等により、さらに関係機関の連携を図る。

(2) 市町村・保健所での相談の充実

ア 取組状況

平成 26 年度の県内各市町村・保健所における相談受理件数は、10 件（延件数）となり、保健所で抗体検査を開始したこと等に伴い、平成 25 年度より 8 件増加した。

イ 課題と対応方針

市町村・保健所でのキャリア本人からの相談に適切に対応できるよう、引き続き必要な情報提供等を行う。

(3) 保健医療従事者のスキルの向上

ア 取組状況

HTLV-1 感染対策における検査機能の強化のため、平成 24 年度から医療保健従事者のスキル向上のための研修会を開催してきたほか、平成 26 年度から保健所での抗体検査を開始して、陽性となった妊婦の家族の検査体制の充実を図ってきた。

イ 課題と対応方針

医療保健従事者等の HTLV-1 についての認識、キャリア外来窓口の役割と紹介の必要性、母子感染防止における指導方法等の普及が十分ではないことから、研修会の開催等により、医療従事者及び相談対応にあたる市町村・保健所保健師等の更なるスキルアップを図っていく。

(4) 普及啓発

ア 取組状況

HTLV-1 母子感染防止への妊婦やその家族への普及啓発のため、妊婦健康診査時に疾患や相談窓口等を記載したリーフレットを配付し、県ホームページでの HTLV-1 に関する情報の掲載、検査希望者への抗体検査の周知等を行っている。

イ 課題と対応方針

県民の一層の理解と母子感染対策に関する知識の普及に向けて、息の長い取組として、継続して県民への普及啓発を実施していく。

平成 27 年度 HTLV-1 対策医療従事者等研修会 実施要綱

1 目的

ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）と、成人T細胞白血病（ATL）やHTLV-1関連脊髄症（HAM）といった起因疾病への対策については、国でも「HTLV-1総合対策」として取り組んでいる。本県でも、県民への正しい知識・理解の普及や、相談・診療体制の構築等が、重要な課題となっている。

本研修会はHTLV-1感染予防及び医療に従事する者が一堂に会して、最近の取組や知見を習得し、本県のHTLV-1対策の推進を図るものである。

2 主催 岩手県

3 後援 一般社団法人岩手県医師会、岩手医科大学附属病院（予定）

4 日時 平成27年10月10日（土）13：30～16：40

5 場所 岩手県医師会館 視聴覚室（岩手県盛岡市菜園2丁目8-20）

6 対象 保健福祉医療現場においてHTLV-1対策に対応するもの

医師：産婦人科医、小児科医、内科医等

看護職：母子保健や感染症、難病を担当する保健師、産科等の助産師・看護師

看護師

7 内容・講師等

時 間	内 容	時間
13:30	【挨拶】 岩手県保健福祉部 副部長兼医療政策室長 野原勝	10分
13:40	【報告】 ・ 岩手県における医療と行政が連携したHTLV-1対策について （岩手県保健福祉部医療政策室感染症担当）	15分
13:55	会場準備	
14:00	【講演】 （座長：岩手医科大学 内科学講座血液・腫瘍内科分野 教授 石田陽治 先生） ・ HTLV-1の基礎知識 講師：岩手医科大学 内科学講座血液・腫瘍内科分野 教授 伊藤薫樹 先生 ・ 質疑応答	60分
15:00	休憩	10分
15:10	【特別講演】 （座長：岩手医科大学 産婦人科学講座 教授 菊池昭彦 先生） ・ HTLV-1 感染予防 Up to date — 産婦人科医・小児科医・保健師が協力して行う母子感染予防 — 講師：富山大学医学部 産婦人科学講座 教授 齋藤滋 先生 ・ 質疑応答	90分
16:40	終了	